

第4回認知症の支援に関する意見交換会

講演：『ズバッ！と認知症連携 ～そうだ！認知症疾患センターに紹介しよう～』

講師：天久台病院 認知症疾患医療センター センター長 松隈 憲吾 氏

○日 時：令和5年11月15日（水） 午後7時00分～9時00分

○場 所：那覇市医師会・4階ホール

○参加者：37名

《認知症サポート医・認知症専門医：9名、認知症の支援に関心のある医師：4名、歯科医師：3名、
那覇市地域包括支援センター：15名（うち認知症地域支援推進員：11名）、その他：6名》

【目的】地域包括支援センター、認知症サポート医・かかりつけ医、認知症疾患医療センター等が連携し、認知症高齢者が早期支援に繋がるため、支援者同士が気軽に相談・助言し合えるネットワークを構築する。

【対象】認知症地域支援推進員、認知症サポート医、認知症疾患医療センター、認知症専門医、
認知症の支援に興味のある医師・歯科医師、行政など

【考察】松隈先生の講演内容について、ほぼすべての参加者が参考になったとのご意見があった。参加者より、「その時、その時で症状が変わってくる」とのことで“その時”に合った支援が必要だと感じた、「多職種連携のチーム作りや家族の役割分担の必要性を考えさせられた」との感想があった。その他「顔の見える関係をつくる上でも顔を合わせられる機会をつくるのが大事」、「参加者と顔見知りになれたことが大きい」、「連携とはお互いの視点を認め合うことだと改めて思った」という感想もあり、回を重ねるごとにお互いに気軽に相談・助言しやすい顔の見える関係性が少しずつ構築できつつある。



講師：松隈 憲吾 氏



司会：長嶺 勝 氏



グループセッション①：食思低下について家族と今後の方針を話し合うことに・・・どうする？

グループセッション②：認知症の方を在宅で看取りをすることに・・・どんなことが必要？



令和5年度

第4回 認知症の支援に関する意見交換会アンケート結果

令和5年11月15日(水)

19:00~21:00

那覇市医師会・4階ホール

講演：『ズバッ！と認知症連携～ そうだ！認知症疾患医療センターに紹介しよう～』

天久台病院 認知症疾患医療センター

センター長(認知症サポート医) 松隈 憲吾 氏

参加者：37名《認知症サポート医・認知症専門医：9名、認知症の支援に関心のある医師：4名、
歯科医師：3名、那覇市地域包括支援センター：15名(うち認知症地域支援推進員：11名)、
その他：6名》

アンケート回答者：30名(回収率：81.1%)

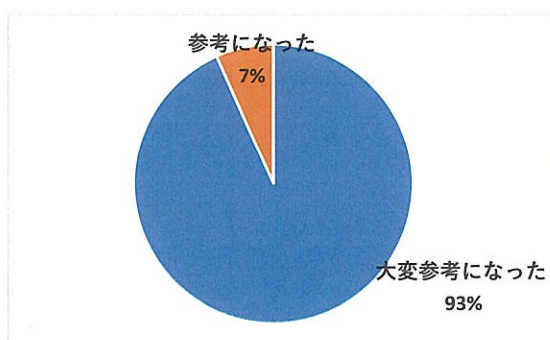
1. 職種について

経験年数	人数	割合
認知症サポート医/認知症専門医	5	17%
その他医師	1	3%
歯科医師	3	10%
認知症地域支援推進員	11	37%
その他	10	33%
総計	30	100%

2. 講演：『ズバッ！と認知症連携～ そうだ！認知症疾患医療センターに紹介しよう～』

(講師：松隈 憲吾 氏)は参考になりましたか。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	28	93%
参考になった	2	7%
まあまあ参考になった	0	0%
あまり参考にならない	0	0%
無回答	0	0%
総計	30	100%



- ・数値を出しての説明、大変イメージしやすく、やさしい語り口で分かりやすいご発表でした。
- ・気質と精神症状の説明はとても分かりやすく、今まで関わったケースと繋がりました。
- ・松隈先生の話が新鮮で面白かった。
- ・松隈先生のお話も今後の業務や人生においても大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・MCI診断に関する精神科医の考え方の過程を見える化して頂いた事が参考になった。
- ・家族力にも目を向けて、家族間の調整や心理士を交えた家族のケアを行っていく事の大切さを学んだ。
- ・「その時、その時で症状が変わってくる」とのことで「その時」に合った支援が必要だと感じた。また、MCIの時点で受診して経過をたどることの大変さを改めて考えさせられました。
- ・とても参考になりました。認知症の人、家族の人への支援が重要と分かりました。
- ・「病者の役割」というのはよい言葉だと思いました。
- ・とても勉強になりました。今後の支援に活かしていきます。

第4回 認知症の支援に関する意見交換会アンケート結果

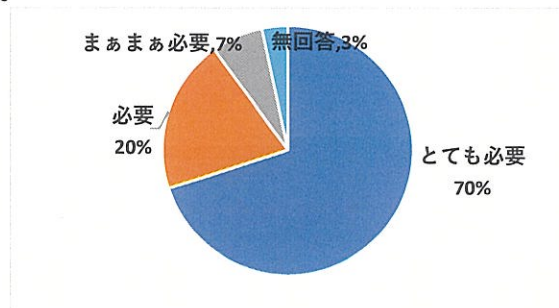
- ・ tube feedingは栄養を改善せず、QOLを改善せず、どのレポートの紹介もびっくりした。
- ・ ご講演でのデータ、米国と日本とのデータの違いにびっくりした。事例をもとに具体的な意見が聞けてとても良かったです。
- ・ 経管栄養のアンケートは、正直眼からウロコでした。

3. グループワークはいかがでしたか。

- ・ とても勉強になりました。
- ・ 活発な意見交換ができて良かったです。
- ・ 活発に議論させてもらいました。思わぬ視点にハッとさせられました。今後の診療に利用したいと思います。
- ・ 異なる科の医師とグループワークができて面白かったです。
- ・ 色々な意見が聞けてとても良かったです。いろんな視点があったり、雑談もあって面白かったです。
- ・ 良い時間配分で、活発な意見が交された。
- ・ とても活発に様々な角度から話し合いができた。連携とは、お互いの視点を認め合う事だと改めて思った。
- ・ とても活発な意見や体験、経験症例をお聞かせいただき、とても参考になりました。
- ・ 3名でのグループだったが、OT、MSW（NS）の立場から、また前職の老健の機能等を踏まえた意見交換が行えて、有意義な話し合いが出来た。
- ・ 皆さんとの様々なディスカッションで共感と学びを得ることができ、とても有意義な時間を過ごしました。
- ・ 多職種連携の大切さを感じた。しっかりと話し合うこと、方向性を示すことなど。チーム作りや家族の役割分担などの必要性など見通しが必要。家族へのフォローなど色々と考えさせられた。
- ・ グループワークはこれまで関わった事例・症例を通したディスカッションが中心となったため、各機関での役割や動き方のイメージがすぐつき、参考になった。
- ・ 日常の業務での相談・支援体制や、連携の業務に落とし込めに向けた話し合いには至らなかったのが、深めた話をするには工夫が必要だと感じた。
- ・ 他の方の話を聞いて、とても参考になったので、地域でもまだまだできることはあると、刺激や勇気をもらえました。
- ・ 医師からの説明、老健で働いた方と、看取りの説明、取り組みがよく理解できた。
- ・ 終末期に対する意識がより深まりました。
- ・ テーマが看取りに関わることでしたので、包括に関わる事例としては稀であったため悩みましたが、グループの中に経験のある方がいらして、とても勉強になりました。
- ・ 医師の皆さんの冷静な意見、的確なまとめに圧倒されました。とても仕事に向けて前向きになりました。
- ・ 具体例で学ぶことができました。

4. 今後、このような意見交換会が必要だと感じますか。

選択肢	人数	割合
とても必要	21	70%
必要	6	20%
まあまあ必要	2	7%
必要ではない	0	0%
無回答	1	3%
総計	30	100%



- ・ 意見交換の場として有意義のため、とても必要だと感じる。
- ・ とても必要性を感じます。在宅でのお困りごとを医師の方達にもくみ取って頂けて嬉しかったです。
- ・ 半年に1回程度の開催であれば参加しやすいです。是非、継続して欲しい。
- ・ 普段は電話で話すことがあっても、なかなか会って話すことがないのでとてもよい機会だと思います。

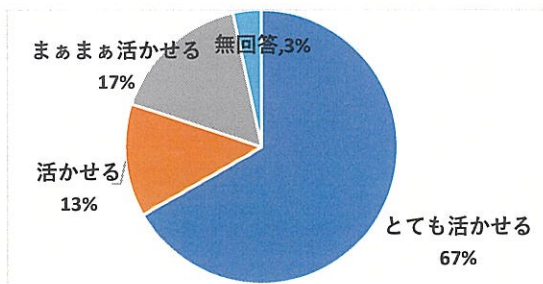
令和5年度

第4回 認知症の支援に関する意見交換会アンケート結果

- ・認知症の治療の意思決定について、誰が…、いつ…等。
- ・顔の見える関係を作るうえでも顔を合わせられる機会を作る事が大事であるとする。
- ・連携を深める、具体的な体制整備をすることへさらにステップアップするには、さらに的を絞るなど具体的なグループワーク等工夫が必要と感じた。

5. 明日からの業務に活かそうですか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	20	67%
活かせる	4	13%
まあまあ活かせる	5	17%
あまり活かさない	0	0%
無回答	1	3%
総計	30	100%



- ・診断、データの話は勉強になる。
- ・包括内で本意見交換会の報告をいたします。
- ・参加者と顔見知りになれたことは大きいです。
- ・エビデンスなど、大変勉強になりました。家族、患者への説明に利用したいと思います。
- ・MCIハンドブック（平穏な時間の大切さなど）のことも情報提供や、小手先の道具などの紹介とても助かりました。気質と精神症状のスライドもすごく分かりやすく、とても良かったです。

6. 今後、「認知症の支援」の研修に関して希望するテーマがあればお聞かせください。

- ・看取りについて
- ・受診を拒否する方に対する支援について
- ・認知症の方が初診の時、本人へどのような声掛けをしますか？本人への声掛けや対応など気を付けていること
- ・「認知症の支援」家族への支援について
- ・近隣への迷惑行為のある認知症の方への在宅支援について
- ・妄想への対応について、薬物療法と非薬物療法等
- ・身寄りのない認知症の方の支援、医療面、法的な面も含めて連携について
- ・治療、連携、偏見を減らしていくには…等。
- ・松隈先生のスライド（9ページ）にあったように活用した道具などの紹介をしてもらえて良かった。
- ・困難事例ばかりではなく、好事例の紹介があれば治療・ケアのイメージをつかめるのでは？医師同士の方が連携できていないかも。精神科（認知症疾患医療センター）は連携しますよ。
- ・医療連携のうまくいった事例を紹介して欲しい。

7. 今回の意見交換会を通して、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・大変勉強になりました。
- ・症例はイメージしやすく理解しやすかったです。
- ・とても良い講演でした。グループディスカッションもとても良かったです。
- ・今後も参加し、勉強させていただきます。
- ・業務後で少し疲れて来ましたが、意見交換会に参加して元気になりました！また参加します！！
- ・サポート医の先生方との顔合わせ、意見交換ができる機会、有意義な時間になりました。
- ・本日も大変よい意見交換会でした。改めて考えさせられることが多かったです。

第4回 認知症の支援に関する意見交換会アンケート結果

- ・各々の立場から日常の業務を聞くことや顔を合わせるだけでも相談のハードルが下がるので、体制構築のきっかけになると改めて肌で感じました。
- ・個人的には、松隈先生のようにMCI～軽度のフォローが丁寧にできるサポート医の先生や自分を含め地域の支援者が少ない現状があるのかなと感じました。
- ・認知症の方の早期支援・対応できる体制づくりには、先生方のお力が不可欠なので、今後、MCI～軽度の認知症のフォローができるサポート医の先生が増える取り組みが強化できればいいなと個人的に感じました。また、同時に地域でも支援者として、サポート医の先生へ対象者のアセスメントがしっかりでき、医療へ繋げることができる支援・体制づくりの取り組みが強化していけるよう、頑張りたいと感じています。
- ・看取りにおける歯科医の役割など考えてみたい。
- ・今後、在宅（歯科）を始めるにあたり参考になりました。
- ・気楽な気持ちで、参加者の皆様とお話しできたのはとても良かったです。本日は、申し込みはされていたようですが、同じグループの参加者が少なかったのは残念でした。次、期待します。